

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



# SAKURA

日本医療機能評価機構認定



さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 60



皆様こんにちは、さくら病院 在宅医療介護センターの所長をしております竹中です。在宅医療介護センター事業はまず、平成4年に福岡で3番目の訪問看護ステーションの設立がスタートです。その後、ケアプランセンター・ヘルパーステーションを開設し地域に根差した在宅療養支援に日々奮闘しております。

さて在宅についてですが、平成30年は介護・医療保険報酬の同時改定がありました。国の施策は明らかに在宅医療への舵取りが進んでいます。在宅療養は個人の生活環境を基本としているので、病院よりご自分の意思で療養スタイルを選択する事ができます。とてもすばらしい事ではありますが、「在宅だけ」に縛られることはできません。特に長い療養生活だと、ご家族の方の負担は少なからず出ることになります。「家でできる限りみてあげたい」という思いを実現するためには負担が強くなりすぎる前に家族の方の休養も必要です。全国在宅療養支援診療所の活動方針も「最後まで全て在宅」から「ほとんど在宅時々病院」に変わりました。療養生活を支えるコツは「自分一人で頑張りすぎない・抱え込まない」ことです。介護サービスや病院を上手に利用しながら「その人らしい生活」を送ることができるよう、皆様の支えとなりたいと私たち職員は考えております。ご相談の際は病院別館にあります「在宅医療介護センター」へお立ち寄りください。



在宅医療介護センター  
所長

竹中 維奉子

## 新任ごあいさつ



副院長 河野 博之

本年4月からさくら病院に参りました河野博之と申します。昭和54年に医学部を卒業後約40年間、心臓血管外科医として働いてきました。この春、福岡赤十字病院を定年退職し、今後は当院で、主に難病を抱えた患者さんのお世話をして地域・社会へ貢献したいと考えています。慣れない内科疾患の診断・治療になりますが、長年の経験と外科的知識を生かした総合的診療により、患者さんとご家族に納得していただける医療を行うことが目標です。どうぞよろしくお願ひいたします。



医師 村上 祐一

今年4月よりさくら病院の内科に着任しております村上祐一(むらかみゆういち)と申します。前任地は筑豊の嘉麻赤十字病院でした。さくら病院では肺炎などの感染症をはじめとする入院加療が必要な急性期疾患からご自宅等への退院へ向けてリハビリテーション等を必要とする慢性期疾患、さらには患者様のご自宅等へお伺いする訪問診療まで幅広く内科全般の診療に従事させていただきます。それぞれの患者様に応じた適切・適確な検査・診断等を行い、患者様やご家族様へ丁寧なわかりやすい説明を心掛けてまいります。地域の皆様への信頼される安心・安全な医療の提供をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。



医師 米良 英和

今年4月より福岡大学病院神経内科から派遣となりました米良英和(めら ひでかず)と申します。神経内科は脳、脊髄、末梢神経などに関わる疾患をみる科であり、頭痛、めまい、脳卒中、てんかん、認知症、末梢神経障害、パーキンソン症候群などの変性疾患等で診療に携わることが多いと思います。

前年まで勤務していた福西会病院は急性期病院でしたが、さくら病院では急性期、回復期、慢性期まで対応ができるため、一人の患者さんを長い経過で診療することができ、大変勉強になっています。また、専門領域だけではなく、内科医として包括的に診療することの大切さを学べる良い機会でもありますので、未熟な身ではありますが、精進していけたらと考えております。どうぞ、宜しくお願ひ致します。



医師 田邊 桃香

4月から勤務しています。前任地は唐津赤十字病院で、血液疾患の治療にあたっていました。

在宅医療、緩和ケアなど、以前から興味を持ち、いずれ携わりたいと考えていた分野です。積極的治療の視点と異なるため日々勉強ですが、非常にやりがいを感じています。

医療者から一方的に提供するだけでは医療が成り立たないこと、そして患者さんの背景をよく知ることの大切さに改めて気付かされます。

スタッフの皆さんと協力し、地域に良い医療を提供できるよう努力したいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



医師 廣瀬 蘿子

福岡大学病院総合診療部より来ました廣瀬蘿子と申します。総合診療という科はあまり耳慣れないかもしれません。ドクターGというNHKの番組で紹介されているような原因のわからない複数の科にまたがる疾患の診断を行う科であり、内科を中心として、救急の対応、軽度の外傷、皮膚疾患や小児科と、町のお医者さんとして幅広い知識をもって診療にあたっていく科もあります。

まだまだ至らないところもたくさんあるとは思いますが、頼れるかかりつけのお医者さんになれるよう日々頑張っていますのでよろしくお願ひいたします。



# 第20回 さくらフォーラム開催



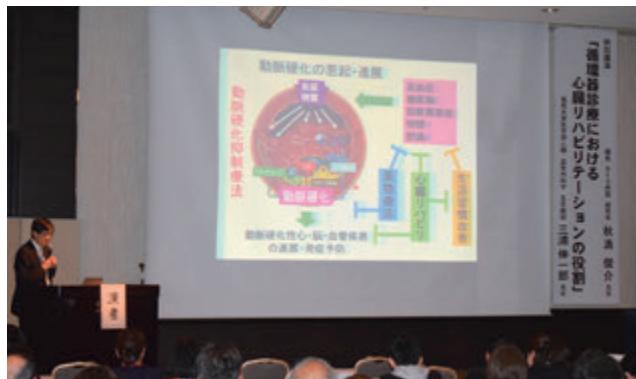
[開催日時] 5月21日(月) 19:00～ [場 所] ソラリア西鉄ホテル

「第20回さくらフォーラム」を今年も開催致しました。今回多くの医療機関・介護施設の先生方や地域医療連携室の方々にご参加いただきました。

まず始めに院長より開催の挨拶、そして医局・看護部の紹介をしました。今年は病診連携情報として副院長 江頭省吾医師より、「さくら病院における医療連携」について説明させていただきました。続いて特別講演では、福岡大学病院 三浦 伸一郎先生より「循環器診療における心臓リハビリテーションの役割」という演題で講演をしていただきました。

その後の懇親会では、普段あまり顔を合わせる事のない他医療機関や施設の方々と、食事をしながら情報交換ができ、お酒も入り和やかな雰囲気となりました。

ました。この様な場を大切にして、今後の医療連携に活かしていきたいと思います。



福岡大学医学部 心臓・血管内科学  
主任教授 三浦 伸一郎 先生

## 部署紹介

# 1 内科病棟

1内科病棟は急性期一般病棟として、随時入院を受け入れる体制をとっています。治療をメインに行っていきます。一ヶ月の入退院数はそれぞれ75～80名で、夜間を含め24時間緊急入院も受け入れています。

平均在院日数は14日～16日と短い期間ですが、患者さんやご家族が安心して療養生活を送っていただけるように努めています。主治医・受け持ち看護師・院内多職種（リハビリや栄養士・ソーシャルワーカーなど）と連携を図り、療養環境の調整や退院に向けての援助方法を考えています。また、在宅サービスを利用されている方には、必要時は退院前に地域の在宅医や訪問看護師、施設関係者・ケアマネジャー、そして患者さん・ご家族と一緒に退院後の生活に向けた会議を行い、退院後の療養計画を検討する機会を設けています。患者さんやご家族からは、「安心して退院できます。」とのお声を頂いています。

患者さんやそのご家族と接する期間は短いですが、受け持ち看護師を中心に入院当初から多職種と連携して退院後によりよい療養生活の準備を行っています。これからも患者さんやご家族に寄り添い、安心して療養生活を送って頂けるように取り組んでまいります。



2018/  
**4月**  
25日(水)

## いきいき公開セミナー テーマ：「外来でできる 健康診断と予防接種」

外来看護師 山本 愛

「外来でできる健康診断と予防接種」をテーマに、以下の内容で、  
いきいき公開セミナーを開催しました。

- ①福岡市が実施する各種健康診断の内容や受診の方法
- ②がん検診（胃・大腸・前立腺）
- ③生活習慣病を予防するための日常生活での注意事項
- ④予防接種
- ⑤AICS（がんリスクスクリーニング検査）
- ⑥アルツハイマー病リスク検査
- ⑦LOX-index（ロックス・インデックス：10年後の脳梗塞、心筋梗塞の発症を予測するもの）



健康診断は、生活習慣病を早期発見、予防するためのものです。がん検診も同様に、早期発見・早期治療が重要であると言われています。ご自身の健康管理のために、定期的に受けられることをお勧めします。

AICS（がんリスクスクリーニング検査）、アルツハイマー病リスク検査、LOX-index（ロックス・インデックス）は、発症のリスク検査です。発症の可能性があるという将来を予測し、早い段階で医療機関にご相談頂いたり、予防対策をとる時に役立てていただけたらと思います。

多数のご参加を頂き、ありがとうございました。何かご不明な点がありましたら、外来にお問い合わせください。

2018/  
**7月**  
19日(木)

## いきいき公開セミナー テーマ：「座ってできる肩こり解消法」

講 師 藤田 明日香

今回は、ヨガ講師の藤田明日香先生に「座ってできる肩こり解消法」というテーマで、参加者の皆さんと体操をしていただきました。



一般的な体操とは違い、ヨガの呼吸法を取り入れた体操で身体に不自由のある方でも無理なく実践できました。日本では、約3000万人が肩こりの症状を感じているといわれています。普段の生活の中に、ちょっとした体操を取り入れてみてはいかがでしょうか。

通所  
リハビリ

## バスハイク



6月5・6・8日に通所リハビリテーションから、バスハイクに行ってきました。都市高速と高速を使用し、片道30分ではありますですがドライブをして目的地へと到着しました。



目的地は、ヤクルト工場。工場内では、ヤクルトの歴史についてDVDで、創立者のシロタ稔さんについて学び、ヤクルトの試飲を楽しみました。その後、実際の工場を見学し、ヤクルトの容器の作り方や容器への注入、パック詰めや冷蔵保存の方法を知りました。利用者さんは、杖や車椅子など様々でしたが、見学しやすい環境で十分な見学をすることができました。日頃、外出しない利用者さんも、終始笑顔で、「楽しかった。また、行きたいね。」と活気溢れる様子でした。今回のバスハイクには参加できない利用者さんには、美味しいおやつを準備し、少しでも楽しんで頂けたらと、バスハイクでの様子を会話し共有することとしました。日々の通所リハビリでは味わえないリハビリを行うことで、利用者さんの楽しみを、今後も増やしていけたらと思います。

# 地域包括ケア病棟の レクリエーション風景

～高齢者へのレクリエーションを行う意義～



2内科病棟 係長 小林 美保子

人は誰しも、歳を重ねると身体機能が低下する「老化現象」が現れます。近年、筋力を高めることで、老化現象を改善できることがわかつてきました。

適度な運動を取り入れることで、レクリエーションには大きな意味があります。

当病棟では、週1回水曜日にレクリエーションを行っています。その内容は、脳の活性化を高める、「塗り絵」「カレンダー作り」「ちぎり絵」や、身体を動かす様々なゲーム、回想を刺激するために、童謡や昔の演歌などを歌っています。

これらのレクリエーションは、参加者の「個」を大切にしながら、他の人のコミュニケーションを生み、身体機能促進効果が得られています。このことは、高齢者にとって生きがいを創出するきっかけや、認知症の予防にもなると思われます。また、平坦になりがちな日常生活の中で、日々の生活に刺激を与え、心を明るくする効果も期待できます。

「私は、いいです」「自分は何もできません」とおっしゃっていた高齢者の方が、レクリエーションの終盤には笑顔になり「また、誘ってね」「楽しかった」などの言葉をよく耳にします。心身の機能向上や笑顔と生活の張りを保つ効果も期待できるレクリエーションです。



こんにちは!

## 地域医療連携室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

医療連携相談室では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただいています。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

### 地域医療連携室

TEL 092-864-1245

FAX 092-864-1213

受付 平日:午前9:00~午後5:00  
土曜日:午前9:00~午後12:00

担当者 室長 江頭省吾

副室長 吉瀬

看護師 井上

医療ソーシャルワーカー 松山・橋迫・足立

事務 谷山



### 外来診察表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室 江頭 省吾 内科／循環器内科	江頭 芳樹 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	天野 角哉 内科／消化器内科	江頭 省吾 内科／循環器内科	
	第2診察室 廣瀬 蘭子 総合内科	村上 修二 内科／心療内科	岩崎 敬雄 リハビリテーション科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診察室 村上 祐一 内科／消化器内科	王寺 恒治 内科／消化器内科	秋満 俊介 内科／循環器内科	池田 貴登 呼吸器内科	王寺 恒治 内科／消化器内科	井手 均 糖尿病内科
	第5診察室 田中 啓二 健康診断	矢野 祐依子 循環器内科	天野 角哉 内科／消化器内科	田中 啓二 健康診断	田邊 桃香 内科	米良 英和 神経内科
	第6診察室 楠原 浩之 内科／消化器内科	西本 好徳 健康診断				西本 好徳 健康診断
午後	第1診察室 田邊 桃香 内科	江頭 省吾 内科／循環器内科	工並 直子 腫瘍血液内科	廣瀬 蘭子 総合内科	米良 英和 神経内科	
	第2診察室 村上 修二 内科／心療内科	河野 博之 心臓外科	米良 英和 神経内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	
	第3診察室 秋満 俊介 内科／循環器内科	杉本 薫 糖尿病内科	王寺 恒治 内科／消化器内科	中尾 晶子 糖尿病内科	秋満 俊介 内科／循環器内科	
	第5診察室				中園 智美 心療内科	乙成 淳 心療内科
	第6診察室			田中 啓二 健康診断	楠原 浩之 内科／緩和ケア内科	佐々木 秀法 腫瘍血液内科
専門外来制	午前	村上 心療内科 川添 神經内科	矢野 循環器内科 杉本 糖尿病内科	岩崎 リハビリ外来 工並 腫瘍血液内科	池田 貴登 呼吸器内科 中尾 糖尿病内科 楠原 緩和ケア外来	井手 糖尿病内科 米良 神經内科
	午後	村上 心療内科 川添 神經内科	河野 心臓外科 杉本 糖尿病内科	米良 神經内科 工並 腫瘍血液内科	佐々木 腫瘍血液内科 安部 脳神経外科	

### 病院までの交通アクセス

■地下鉄七隈線／福大前下車1番出口より徒歩10分

■都市高速／堤ランプより車で3分

■車／天神より約30分（本館地下に専用駐車場があります）

■バス／西鉄バス（さくら病院前バス停下車）の場合

■天神方面より：協和ビル前のりば片江(営)行………13番

■西鉄大橋駅より：……………外環700番

西鉄バス（西片江一丁目バス停下車）の場合

■天神方面より：警固神社・三越前のりば片江(営)行………114番

協和ビル前のりば片江(営)行………12・140番

■西新・飯倉方面(脇山口)より：……………95番

■博多駅方面より：博多駅前のりば片江(営)行………16番

博多バスター・ミナル片江(営)行………12・114番

■桜原・片江方面より：………6・12・16・95・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院

在宅医療介護センターさくら

サービス付き高齢者向け住宅

ホスピコート長尾

社会福祉法人 桜花会

ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会

特別養護老人ホーム

ライフケアしきた

社会福祉法人 桜花会

ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL

事務所 092-801-7386

ユニット 092-872-5615

1内科 092-872-5611

2内科 092-872-5612

3内科 092-872-5613